

磯子七福神めぐり

磯子七福神は、大正7年（1918年）に磯子区・南区の七つの寺社に祀られ、当時、近郷の参拝者が巡拝して賑わっていました。

当初は、岡村天満宮、稲荷社（埋地・磯子浜）も講中内でしたが、何時の日か、現在の高野山真言宗の七つの寺院に祀られるようになりました。

戦乱、戦後で一時途絶えておりましたが、昭和53年（1978年）磯子区制施行50周年記念を契機に、磯子区青少年指導員協議会が各寺院・神社と磯子区体育指導委員連絡協議会（当時）の協力を得て、歴史・文化の研究保存、ふる里意識高揚と体力・健康保持のために約9kmの歩行順路を作りました。

磯子七福神めぐりは、初詣として岡村天満宮を含め8か所を一巡りするコースを設定し、毎年正月の第一または第二の日曜日（雨天中止）に磯子区役所・根岸坂下公園・磯子小学校・岡村中学校・岡村西部自治会館の5か所から午前9時頃出発し、半日かけて巡ります。

七福神の神々は、インドの守護神である毘沙門天・弁財天に、中国の高僧である布袋・寿老人・福祿寿、並びに日本古来の神である恵比寿とインドの大黒天と大黒主命と合体した大黒様です。私達の先祖の人々が、現世に求める欲求を満たす七つの福徳を授けてくれる神々を選び、お参りする風習がありました。

巡拝は、平安時代の末期頃より始まり、江戸時代の全盛期には、お正月行事として欠かすことの出来ない行事となり、明治・大正・昭和の初期まで続き、近年、復活し始めました。

周辺には、横浜港北七福神・三浦七福神・逗子葉山七福神・東京隅田川七福神、遠くは、三河七福神・長野伊那七福神・淡路島七福神等があります。

弁財天は、インドの神で万物を破壊する洪水の力を神格化したもの。琵琶楽器を持っているので、音楽・学問・芸能・商売の福徳施与を願う神様。また、弁才天とも書く。



毘沙門天は、須弥山の四方を守る四天王の一人。インドの守護神で、武人の神で宝塔・宝棒は財産、富貴繁栄と勇気を授けてくれる神様。また俱毘羅と言い施福の神とも言われている。



布袋は、中国の名僧布袋和尚で、弥勒菩薩の化身と言われ、額は広く、身を太く短く、ふくよかな腹を持つ円満な相から、夫婦円満、功徳を施す神様。



恵比寿は、日本古来の神様で事代主命や、海原に放たれた蛭子神の化身とも言われ、海の幸を司る神と言われるとともに、エビス・夷は、北海道のエゾと同名で、国土の原住の神ともいわれ、家内安全・家運隆昌・商売繁盛の神様。恵比須とも書く。



福祿寿は、中国の北宋の道士という説と、南極星の化身という説がある。人間が求めている「福と祿と寿」。福は幸福・家内安全、祿は俸祿・収入・地位、寿は長生きを望む三つの願いを叶えてくれる神様。



寿老人は、中国の老子が天に昇り仙人になり1500歳の長寿を保ったという説と南極星の化身という説がある。人が永遠に長生きしたいという願いから出現した神様。



大黒天は、憤怒の相貌から武人の神、また食物を司る神といわれ、日本に渡り大黒主命と合体し大黒様といわれ、その円福にあやかり、家内安全・勉強の神、米俵に乗っているの、山の幸の神、小槌を振り上げているので、財宝の神とされ、商売繁盛の神様として、江戸時代より、恵比須様とともに、海の幸・山の幸・金銀の財をなすように一対で、神棚に祭られている。



文責 渡部 近司
発行 磯子区青少年指導員協議会

★磯子七福神めぐり 周辺MAP★




こんぞういん

海向山 岩松寺 金蔵院

※ 磯子区磯子4－3－6 TEL752-1741
※ 市バス「宮の下」徒歩2分
市バス「間坂」徒歩5分

高野山真言宗・縁起によると岡村町（1丁目）の薬師畑に鎌倉三代執権北条泰時が、京の明恵上人からいただいた薬師尊像を安置し、霊雲山竜錫寺と号したが、火災で焼失し、1328年(嘉暦3年)に、今の地に金蔵院として中興したのは、真言僧理空上人である。現在の本堂は、1964年(昭和39年)完成。また、観音堂の如意輪観世音菩薩像は、北条泰時公内室の念次物で、発進比丘宗因が安置。現在のお堂は、1974年(昭和49年)に妙義山妙義神社御本地堂(約200年前の建造)を移築完成したものである。

本尊 薬師如来
建物 本堂・観音堂・山門・庫裡・茶室「海向庵」
七福神 弁財天




しんしょうじ

禅馬山 密厳院 真照寺

※ 磯子区磯子8－14－12 TEL753-5147
※ 市バス「浜」徒歩6分

高野山真言宗、開山開基は明らかではないが、鎌倉時代に遡る。山号は禅馬山三郷院または禅馬山密厳院と称し、古文書によると、1184年(元暦元年)に当時磯子を支配していた平子平右馬丞が再興したといわれ、平子氏が当山を開基し、平子平右馬〇の像と伝えられている。1473年(文明5年)僧圓鎮(寶生寺第三世)が造営を加え、郷内禅馬・根岸両村の三分の一の所領を寄進したので、三郷院という名が出たと伝えられる。現在の本堂は、1962年(昭和37年)に落慶したものである。(元暦元年と寿永3年は同一)

本尊 阿弥陀如来三尊仏
建物 本堂・客殿・阿弥陀堂・不動堂・和光会館・庫裡
七福神 毘沙門天




みつぞういん

竜頭山 明王寺 密蔵院

※ 磯子区竜頭3－13－5 TEL751-0968
※ 市バス「磯子橋」徒歩5分

高野山真言宗、開山不詳なるも1597年(慶長2年)や慶長4年の墓石、同5年の院塔があり、その頃が開山と考えられる。中興開山は1652年(慶安5年)入寂の阿闍梨長慶が、堂宇を整備し、寺門興隆をとげた。1745年(延享2年)根岸領書上によると、この権現、貴船大明神、山王と八幡社など10社の別当職を1766年(明和3年)八幡川のほとりの八幡宮も密蔵院持ちになったが、明治初年の神仏分離で解除、1923年(大正12年)関東大震災で本堂・庫裡倒壊。現本堂・庫裡は、1980年(昭和55年)に落慶。その期に山号を「竜頭山」から「竜頭山」と改める。

本尊 不動明王
建物 本堂・庫裡・客殿
七福神 布袋




ほうしゃくじ

明王山 不動院 宝積寺

※ 磯子区上町7－13 TEL751-4300
※ 市バス「根岸橋」徒歩4分

高野山古義真言宗、鎌倉時代の創立、1213年(建保元年)権僧正勝覚阿闍梨が東国巡化の際、大宝積經の名を用いて宝積寺を建立する。また、1558年(永禄年中)頃、僧頼順が再興したと伝える。1870年(明治3年)、根岸の白滝不動堂を再興し、宝積寺の境外仏道とした。また、現住職は、子どもたちが、健やかに育つように発願し、千体地藏尊をおまつりし、ガンダーラ文庫や写経・写仏を行っている。

本尊 不動明王
建物 本堂・庫裡・客殿
七福神 恵比寿



令和8年 磯子七福神めぐり 1月4日


ぐぜいいん

妙法山 観世音寺 弘誓院

※ 南区睦町2－221 TEL731-2825
※ 市バス「中村橋」徒歩5分

高野山真言宗、1536年(天文5年)石川帯刀源家重の開基、伯父の順清法印を京都より迎え、開山したと伝えられる。
1703年(元禄16年)南関東大震災で堂宇倒壊再建、1923年(大正12年)関東大震災で本堂庫裡倒壊再建、1945年(昭和20年)戦災焼失、1974年(昭和49年)本堂完成し、今日に至る。

本尊 聖観世音菩薩
建物 本堂・客殿・庫裡・釈迦堂
七福神 福祿寿




ほうしょうじ

青龍山 寶生寺

※ 南区堀ノ内町1－68 TEL731-2548
※ 市バス「天神橋」徒歩7分

高野山真言宗、青龍山寶金剛院と号する。承安年中(1171～75年)覚清法印によって草創された。平安時代から室町時代まで横浜南部一帯を支配していた豪族平子氏と代々関係が深く、応永年間に覚尊法印が住した頃には、末寺51か寺を支配する本寺となった。以来、太田道灌、北条氏康、豊臣秀吉、徳川幕府等の外護を受け、伊豆、相模、武蔵三国古義真言宗法談所の一つとして栄えた。横浜の歴史を知るうえで重要な多くの古文書を所蔵している。

本尊 金剛界大日如来
建物 本堂・庫裡・鐘楼道・大門・収蔵庫
七福神 寿老人




こんどういん

医王山 金剛院

※ 磯子区岡村5－3－1 TEL751-6296
※ 市バス「仲久保」徒歩3分

高野山真言宗、1696年(元禄9年)に入寂した長誉上人が開山したともいわれているが、古文書によると上人が、寺運を興隆し中興と記され、それより以前に開山したものと思われる。
1918年(大正7年)隣接の火災で類焼。仮本堂から、1975年(昭和50年)本堂大改修完成し、1989年(平成元年)薬師三尊立像を新たに安置。「夢薬師」と命名し、現在の寺容を整えた。

本尊 薬師如来
建物 本堂・護摩堂・地藏堂・客殿・庫裡・休憩所
七福神 大黒天



岡村天満宮

※ 磯子区岡村2－13－11 TEL751-2008
※ 市バス「天神前」徒歩5分

創立年代は不詳だが、古老の言い伝えによると鎌倉時代1190年(建立年間5年間)源頼朝の家臣が鎌倉から移り住み、鎌倉の往柄天神を信仰していたので、京都の北野天満宮の御分霊をいただき天宮(菅原道真公)を創建したといわれている。1910年(明治43年)岡村町(6丁目)に鎮座していた天照皇大神、杉山神社(市杵島姫ノ命・3丁目)の二社を合併して杉山天満宮とした。1930年(昭和5年)に岡村天満宮と改称し、1975年(昭和50年)現在の社殿が造営された。

祭神 菅原道真公、天照皇大神、市杵島姫ノ命、白笹稻荷神(境内社)
建物 本殿・社務所・稻荷社・神楽殿
初詣 菅原道真公(学問・書道の神)・市杵島姫ノ命・白笹(弁財天・財運芸術を司る神)

